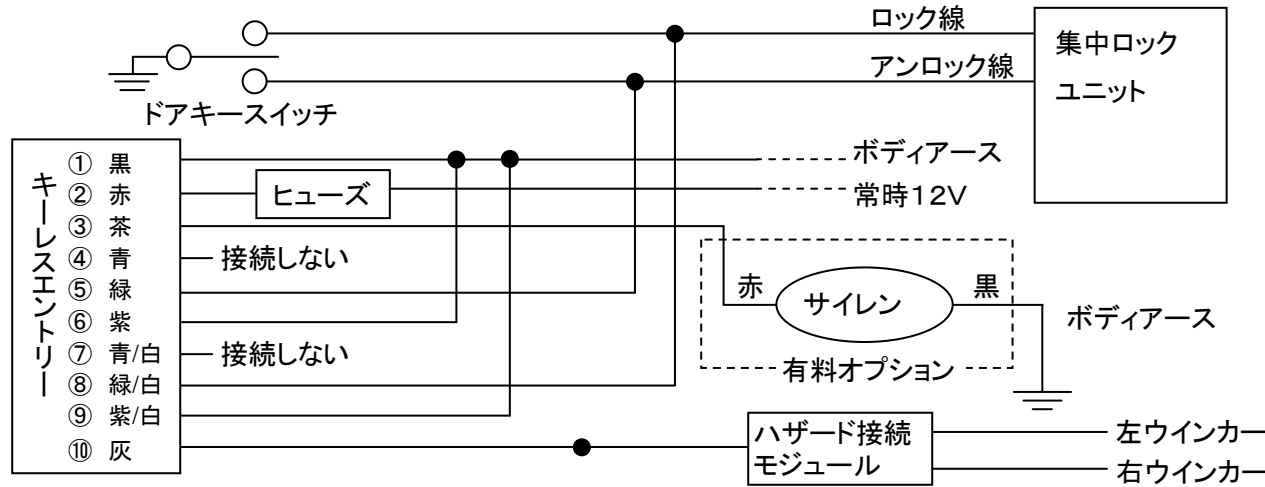


キーレス基本結線図



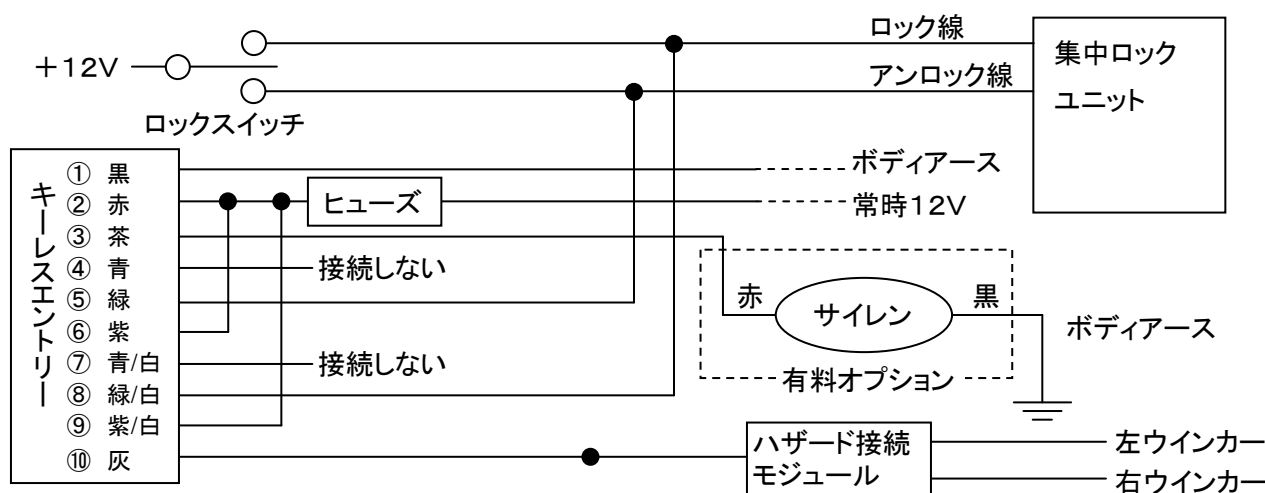
Aタイプ (例:ほとんどのトヨタ車、W140、W202等)

すべてのドアにドアロックモーターが付いていて、マイナスコントロール(信号線をアースに接続するとロック・アンロック)の車種



Dタイプ (例:BMW E32・E34・E36・E38・E39等、GOLF3やアメ車の一部等)

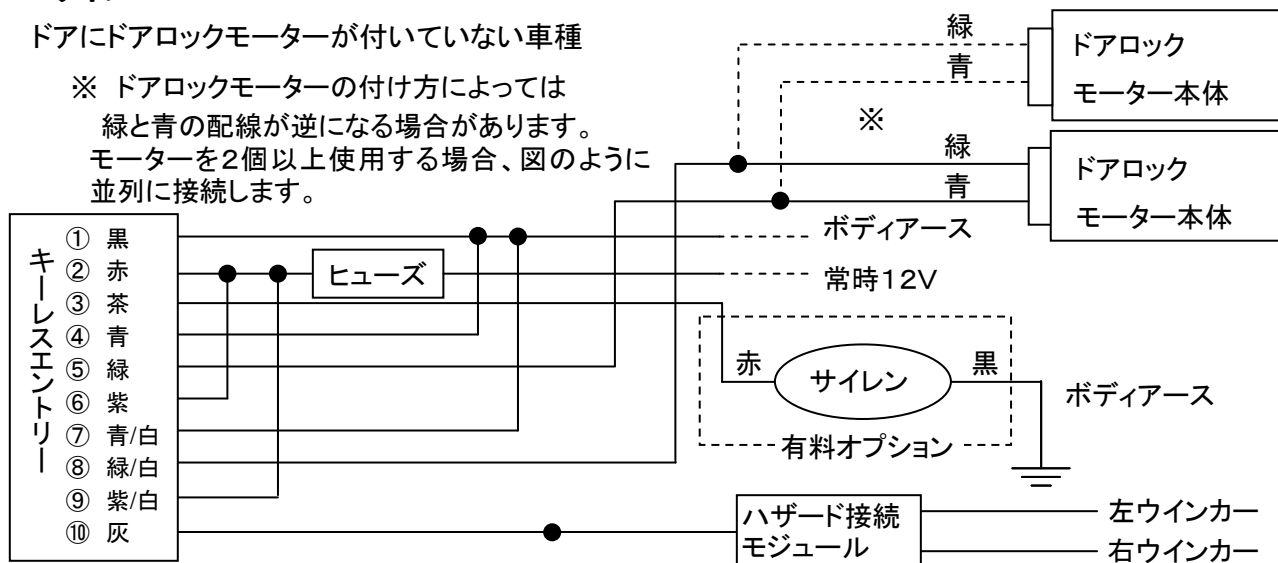
すべてのドアにドアロックモーターが付いていて、プラスコントロール(信号線を+12Vに接続するとロック・アンロック)の車種



Bタイプ

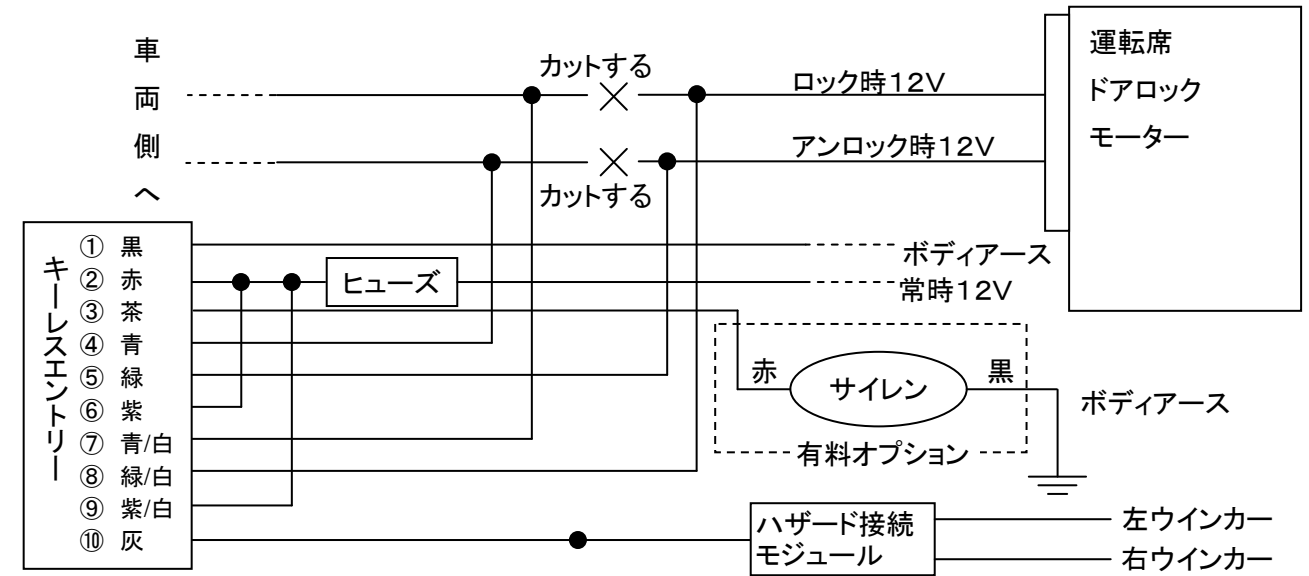
ドアにドアロックモーターが付いていない車種

※ ドアロックモーターの付け方によっては緑と青の配線が逆になる場合があります。モーターを2個以上使用する場合、図のように並列に接続します。

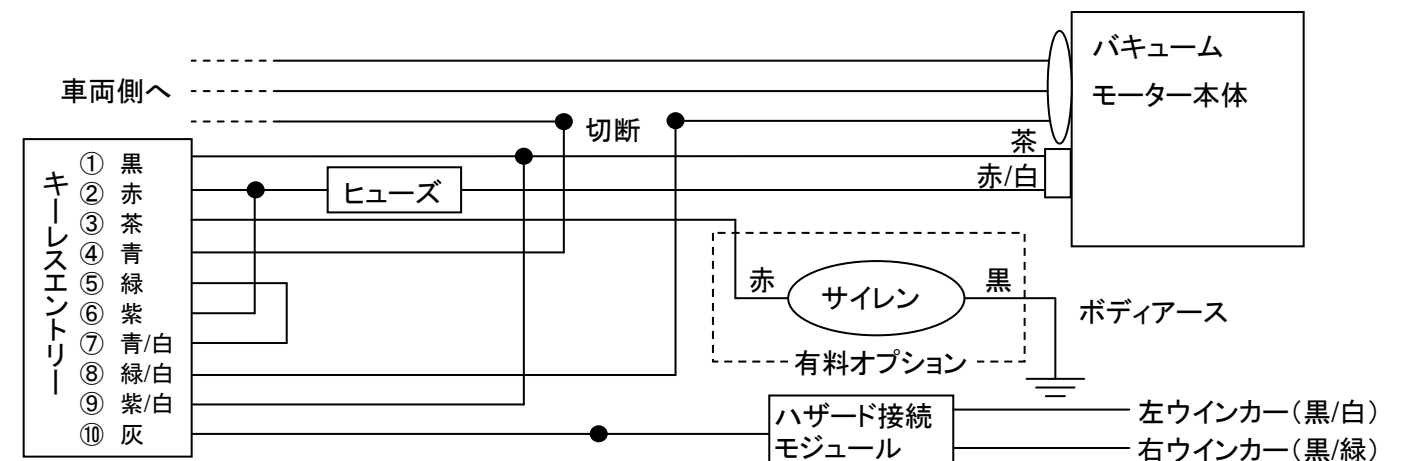


Cタイプ (例:トヨタ車以外で純正キーレス付きの車等と一部のトヨタ車、等)

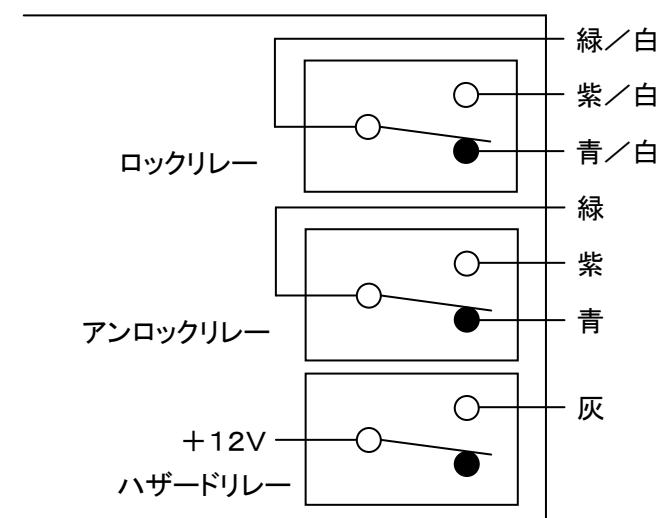
すべてのドアにドアロックモーターが付いているが、ドアロックリレーがない車種



ベンツタイプ (例:W124・W126・W201・R129・R107 後期等)



ロック・アンロックリレーの出力線



【受信機の設置場所】

受信機は、両面テープなどで固定してください。ダッシュボードの下など、見えないところでもかまいません。(アンテナは感度に応じて伸ばしてください。)
※ 受信機はドアの中には設置しないようにしてください。水濡れや振動で故障の原因になります。

【サイレンについて】

ベーシックタイプキーレスの場合、受信機にサイレンだけ接続しても鳴りません。受信機にサイレンを鳴らす機能を追加する必要があります。サイレンを付けない場合は、茶線はどこにも接続せず、絶縁テープ等で保護してください。

【常時電源について】

電源は、必ず15A以上の容量の線から取得してください。(オーディオ裏は、容量が小さいので不可。)

【ハザード接続モジュール】

灰色の線で、1本から2本の二股になっているものが、ハザード接続モジュールです。

1本側をキーレスの灰色と接続し、2本側を左右のウインカー線に接続します。左右どちらに接続してもかまいません。

■ 配線完了後、リモコン受信機を接続する前に必ず結線タイプごとの手順で配線を確認してください。

※ 必ず順序 1 番から 5 番まで、飛ばさずに確認してください。

※ 手順以外の差込は破損の元になりますので、絶対にしないように注意してください。

※ 検査ピンが熱くなる場合がありますので、検査のときは必ず軍手等を使用して下さい。

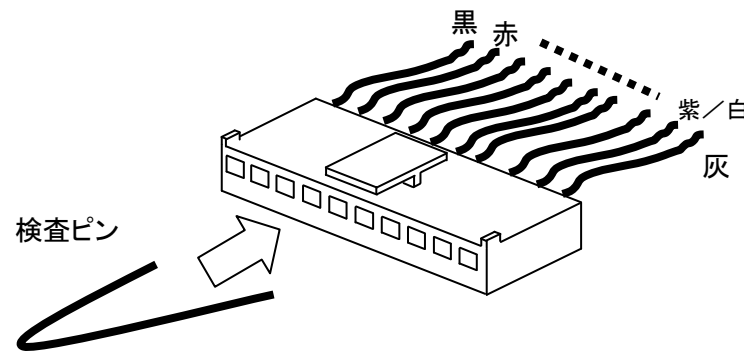
Aタイプ配線検査手順（検査ピン1本使用）

順序	検査方法	車両の動作	異常の場合の不良原因
1	緑／白と黒の穴に検査ピンを約 1 秒差し込む。	ロック	緑／白または黒線の結線不良
2	緑と黒の穴に検査ピンを約 1 秒差し込む。	アンロック	緑線の結線不良
3	緑／白と紫／白の穴に検査ピンを約 1 秒差し込む。	ロック	紫／白線の結線不良
4	緑と紫の穴に検査ピンを約 1 秒差し込む。	アンロック	紫線の結線不良
5	灰と赤の穴に検査ピンを約 1 秒差し込む。	差し込んでいる間 両ウインカー点灯	ウインカー線または赤線の結線不良
6	リモコン受信機を接続し、リモコンで動作させる。	ロック アンロック	受信機またはリモコンの初期不良

Dタイプ配線検査手順（検査ピン1本使用）

順序	検査方法	車両の動作	異常の場合の不良原因
1	緑／白と赤の穴に検査ピンを約 1 秒差し込む。	ロック	緑／白または赤線の結線不良
2	緑と赤の穴に検査ピンを約 1 秒差し込む。	アンロック	緑線の結線不良
3	緑／白と紫／白の穴に検査ピンを約 1 秒差し込む。	ロック	紫／白線の結線不良
4	緑と紫の穴に検査ピンを約 1 秒差し込む。	アンロック	紫線の結線不良
5	灰と赤の穴に検査ピンを約 1 秒差し込む。	差し込んでいる間 両ウインカー点灯	ウインカー線の結線不良
6	リモコン受信機を接続し、リモコンで動作させる。	ロック アンロック	黒線の結線不良 受信機またはリモコンの初期不良

検査ピン



■ 検査ピンは、書類を留める金属のクリップ等を1本または2本ご用意いただき、伸ばしてV字に曲げて製作してください。

※ サポートなしの価格で提供しておりますので、サポートの必要な方は、必ずお申し込み下さい。

Bタイプ・Cタイプ配線検査手順（検査ピン2本使用）

順序	検査方法	車両の動作	異常の場合の不良原因
1	緑と黒の穴に検査ピンを1本差し込んだ状態で、緑／白と赤の穴に別の検査ピンを約1秒差し込む。	ロック	緑、黒、緑／白または赤線の結線不良
2	緑／白と青／白の穴に検査ピンを1本差し込んだ状態で、緑と赤の穴に別の検査ピンを約1秒差し込む。	アンロック	青／白または緑線の結線不良
3	緑と青の穴に検査ピンを1本差し込んだ状態で、緑／白と紫／白の穴に別の検査ピンを約1秒差し込む。	ロック	青または紫／白線の結線不良
4	緑／白と青／白の穴に検査ピンを1本差し込んだ状態で、緑と紫の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	アンロック	紫線の結線不良
5	灰と赤の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	差し込んでいる間 両ウインカー点灯	ウインカー線または赤線の結線不良
6	リモコン受信機を接続し、リモコンで動作させる。	ロック アンロック	受信機またはリモコンの初期不良

※ 2本の検査ピンは、絶対にショートさせないようにしてください。

ベントタイプ配線検査手順（検査ピン1本使用）

順序	検査方法	車両の動作	異常の場合の不良原因
1	緑／白と黒の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	ロック	緑／白または黒線の結線不良
2	緑／白と赤の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	アンロック	赤線の結線不良
3	緑／白と紫／白の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	ロック	紫／白線の結線不良
4	緑／白と紫の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	アンロック	紫線の結線不良
5	灰と赤の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	差し込んでいる間 両ウインカー点灯	ウインカー線の結線不良 左が点かない⇒黒／白の結線不良 右が点かない⇒黒／緑の結線不良
6	リモコン受信機を接続し、リモコンで動作させる。	ロック アンロック	青／白または緑線の結線不良 受信機またはリモコンの初期不良

ボタンの種類	機能	ハザード	音※	備考
ロックボタン	ロックします。	1回	2回	
アンロックボタン	アンロックします。	3回	3回	
サーチボタン	カーサーチ機能（ロケーター機能ともいいます。ハザードが30秒間点滅します。）	点滅	—	途中、いずれかのボタンを押しても止まります。
パニックボタン	パニック機能（3秒以上長押しすると30秒間ハザードが高速点滅し、サイレンが鳴ります。）	高速点滅	連続	途中、いずれかのボタンを押しても止まります。

※ オプションのサイレンを付けた場合に有効です。

【サイレントモードについて】

サーチボタンを押して、ハザードが点滅中にロックボタンまたはアンロックボタンを押すとサイレンは鳴りません。

【感度について】

受信機から出ている黒い線がアンテナです。この線をまっすぐに垂直または水平に伸ばしてください。車種によって垂直がいい場合と水平がいい場合があります。また、受信機も水平または垂直に設置するなど工夫してください。アンテナ線は、絶対にアースまたは電源に接続しないようにしてください。また、出荷時の電池はあくまでモニター電池ですので、本来の寿命より短い場合があります。感度が徐々に落ちてきた場合は、新しい電池に交換してください。もし、現行の感度でご満足いただけない場合は、感度調整方法を資料閲覧ページに記載しておりますので試してください。

【配線検査で1から5番まで問題がないのに受信機が反応しない場合】

資料閲覧ページ記載の「リモコンのセットアップ」をしてください。